

新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 環境安全・防災課

担当課長名： 水野 宏治

事業の概要

事業名	空港・港湾等アクセス 主要地方道 福岡東環状線 粕屋2工区	事業区分	地方道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県糟屋郡粕屋町内橋 至：福岡県糟屋郡粕屋町仲原	延長	1.0km		

事業概要

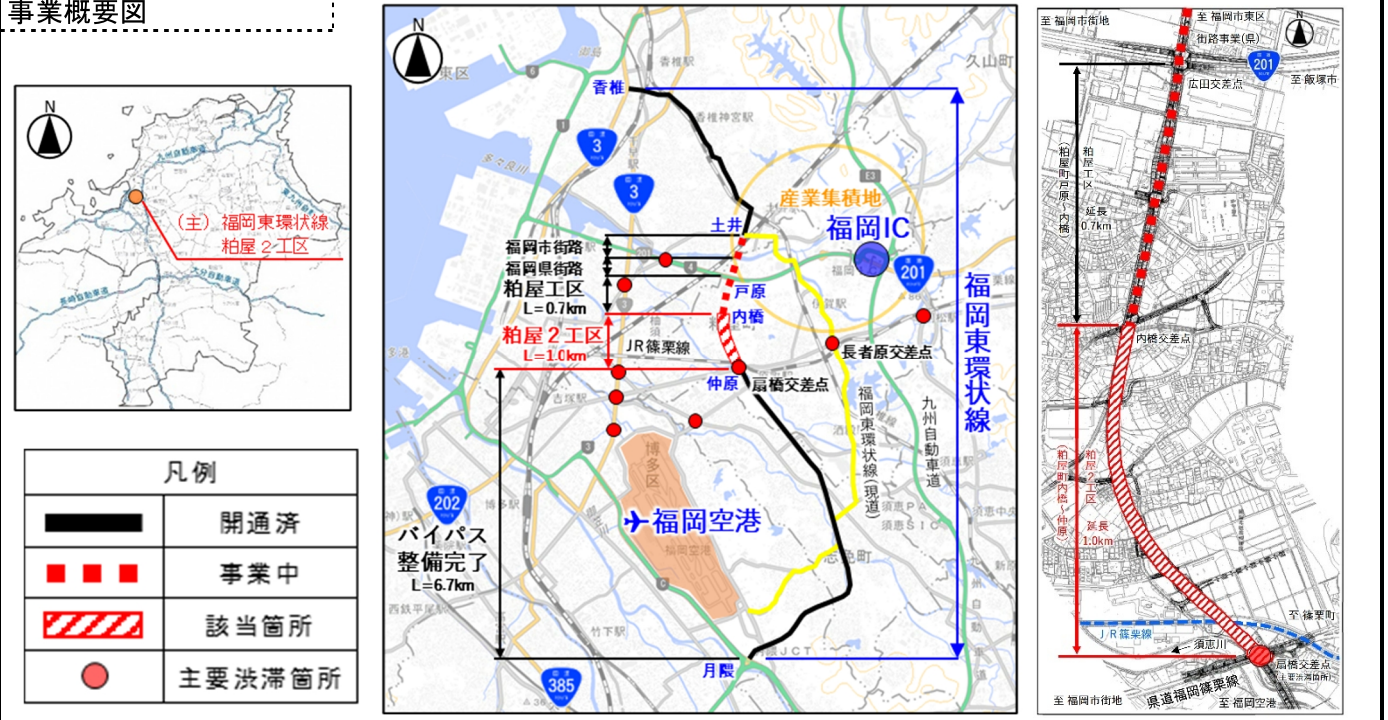
主要地方道福岡東環状線は、福岡市東区香椎から博多区月隈に至る延長約12kmの主要な幹線道路である。沿線には福岡空港や九州自動車道福岡IC周辺に産業集積地があり、人流・物流の円滑化に重要な役割を担っている。このうち、粕屋2工区は、福岡空港と、福岡都市圏東部の人口集積地や物流機能の拠点を結ぶ延長約1.0kmのバイパスを整備するものである。

事業の目的、必要性

当事業により、人口集積地、物流機能の拠点、福岡ICから、現道の主要渋滞箇所を避けて福岡空港へ向かう新たなバイパスを整備することで、福岡空港へのアクセス性が向上し、速達性、定時性の向上が期待される。また、バイパスに交通が転換することで、周辺の主要渋滞箇所の交通混雑の緩和が期待される。

全体事業費： 約100億円 計画交通量： 34,900台/日

事業概要図



関係する地方公共団体等の意見

福岡外環状線建設促進期成会(福岡市、春日市、大野城市、那珂川市、糟屋郡粕屋町、宇美町、須恵町、志免町)及び主要地方道福岡東環状線建設促進期成会(粕屋町)から早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

—

対応方針(採択理由)

費用便益比が2.7と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。また、福岡空港へのアクセス向上により、人流・物流における速達性、定時性の向上や現道上の主要渋滞箇所である長者原交差点の交通混雑の緩和などが見込まれることから、当該道路の整備の必要性・効果は高いものと判断される。以上より、本事業は令和8年度新規事業箇所として妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件	
<input checked="" type="checkbox"/>	便益が費用を上回っている
<input checked="" type="checkbox"/>	事業実施環境が整っている

費用 便益 分析	B/C		(参考)	EIRR	総費用	161億円	総便益	431億円	感度分析	基準年
	(参考)	[4%]	2.7		7.7%	事業費: 158億円 維持管理費: 2.5億円 更新費: -億円	走行時間短縮便益: 320億円 走行経費減少便益: 93億円 交通事故減少便益: 18億円	(参考) 時間信頼性向上便益: 106億円 CO2排出削減便益: 1.1億円		
	[2%]	4.6		事業費変動					B/C= 2.6~2.8 (変動ケース: ±10%)	
	[1%]	6.4		事業期間変動					B/C= 2.5~2.9 (変動ケース: ±20%)	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
 ※B/Cは主要地方道福岡東環状線粕屋工区及び粕屋2工区(粕屋町戸原～粕屋町仲原)を対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

事業の 影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・主要渋滞箇所の交通渋滞の緩和 対象区間の整備により、福岡東環状線(現道)の主要渋滞箇所である長者原交差点の渋滞長が約6割減少することが期待される。(渋滞長:600m→240m、整備無は770mに悪化)
事故対策		—	・注目すべき影響はない	
歩行空間		○	・歩行者・自転車走行区間の確保 新たな歩道・自転車通行帯の整備により、歩行者・自転車走行区間が確保され、利便性、安全性が改善する。	
社会全体への影響	住民生活	○	・第3次救急医療機関への搬送経路確保 現道及びバイパス区間の整備済み区間は緊急輸送道路二次ネットワークに指定されており、対象区間の整備により、沿線に立地する災害拠点病院である福岡青洲会病院や三次救急医療機関である九州大学病院病院へのアクセス向上が図られる。	
	地域経済	◎	・福岡空港へのアクセス性の向上 対象区間の整備により、人口増加が続く福岡都市圏東部の人口集積地、物流機能の拠点施設、九州自動車道福岡ICから福岡空港へ向かう新たなバイパスができることで、福岡空港へのアクセス性が向上し、人流・物流において、速達性、定時性の向上が期待される。	
	災害	○	・災害時のリダンダンシー 緊急輸送道路である現道とバイパス部のダブルネットワークの構築により、災害時や事故時のリダンダンシーを確保し、この確保により、災害時の避難や救命・復旧活動を支援する。	
	環境	—	・注目すべき影響はない	
	地域社会	○	・地域住民の利便性向上 対象区間の整備により粕屋町における南北方向の幹線道路の整備が図られ、町のネットワーク強化に寄与する。	

事業実施環境	
<input checked="" type="checkbox"/>	都市計画決定手続き完了(昭和58年10月)
<input checked="" type="checkbox"/>	本工区と隣接する粕屋工区は、平成21年度に事業化されており、現在、社会資本整備総合交付金により事業中である。
<input checked="" type="checkbox"/>	福岡外環状線建設促進期成会(福岡市、春日市、大野城市、那珂川市、糟屋郡粕屋町、宇美町、須恵町、志免町)及び主要地方道福岡東環状線建設促進期成会(粕屋町)から早期整備の要望を受けている。